

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840050 _ 001

【1.基本情報】

事業名	交通安全施設整備					
担当部名	基盤整備部			担当課名	道路維持課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	—	年度～	年度	根拠法令・関連計画	道路交通法・高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	道路の安全性を向上させ、交通事故発生を抑制を図る。	
内容 (手段・手法など)	市民が安全で安心して道路を利用できるよう、交通安全施設である道路反射鏡、防護柵、区画線、案内標識などの設置及びバリアフリーに適合した安全で快適な歩行環境の実現のための歩道改良を行う。	
事業の 対象	何を	交通安全対策として、道路反射鏡など交通安全施設の設置及び歩道の改良の実施
	誰に	道路利用者
	どのくらい	交通安全対策が必要な道路
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	11,278	347	11,208	347	11,035	347
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,278	347	11,208	347	11,035	347

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		184,297	147,271	76,821
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事	184,297	147,271	76,821
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		184,297	147,271	76,821

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	195,575	158,479	87,856

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	60,889	58,852	50,763
計(F)	60,889	58,852	50,763

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	134,686	99,627	37,093

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	道路利用者	道路利用者	道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	歩道改良整備延長			単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	70	70	63		
実績値	76	84	63		

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	事故死傷者数の減少			単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	2,000	800	800		
実績値	1,033	962	934		
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	地元からの危険個所の対策要望や一事故一対策に対応した事業であり、交通事故防止に寄与している。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	道路の安全性を高め、交通事故防止に寄与するものである。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	交通安全施設を設置することにより、交通事故発生抑制が図れる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	道路利用者全体の利益に資するものである。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	交通安全対策として、道路反射鏡など交通安全施設の設置及び歩道改良の実施をすることにより、道路の安全性が向上し、事故件数が抑制されているため、引き続き事業を実施していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840050 _ 002

【1.基本情報】

事業名	道路舗装整備					
担当部名	基盤整備部		担当課名		道路維持課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	—	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の向上 ・市内交通の安全性・利便性の向上 ・適切な維持管理による道路管理瑕疵の抑制 					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・市道舗装の改良・更新 ・未舗装市道の舗装整備 					
事業の 対象	何を	道路舗装				
	誰に	道路利用者及び地域住民				
	どのくらい	適切な維持管理及び未舗装路の整備				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	17,160	528	17,054	528	16,790	528
パートタイム会計年度任用職員A	2,719	264	2,719	264	2,666	264
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	19,879	792	19,774	792	19,457	792

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		655,202	783,114	606,303
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事	499,775	638,623	448,302
	委託	3,630	3,740	4,613
	修繕	151,797	140,751	153,388
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		655,202	783,114	606,303

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	675,081	802,888	625,760

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	19,040	21,500	15,000
県支出金	0	0	0
市債	338,300	493,500	400,400
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	357,340	515,000	415,400

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	317,741	287,888	210,360

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	舗装整備面積		単位	m ²
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	78,596	98,644	97,309	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市内交通の安全性・利便性の向上(舗装率)		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	82.20	82.20	82.20	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	道路利用者や地域住民に対し、生活環境の向上、安全性・利便性の向上、道路管理瑕疵の抑制を図るには、道路舗装整備は欠かすことができない事業である。 岐阜市が所管する施設であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	舗装整備により、道路の安全性向上が図られているが、既設舗装の老朽化が進んでおり、今後は更新などの対策をより一層重点的に行う必要があることから、事業費の増加が見込まれる。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	道路舗装の改良、新設によって、生活環境の向上、安全性・利便性の向上、道路管理瑕疵の抑制を図ることができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	道路舗装は岐阜市全域で整備されているが、道路舗装の新設など受益者である道路利用者及び地域住民が限定的な場合がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	舗装の改良、新設により、生活環境の向上及び安全性・利便性の向上、道路管理瑕疵の抑制を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840050 _ 003

【1.基本情報】

事業名	真砂町11丁目光明町3丁目線											
担当部名	基盤整備部				担当課名			道路維持課				
実施方法	直営		補助等の種類			実施主体		岐阜市				
開始・終了年度	平成	29	年度	～	令和	8	年度	根拠法令・関連計画	電線共同溝の整備等に関する特別措置法等			

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	「安全で快適な通行空間の確保」、「都市景観の向上」、「都市災害の防止」、「地域活性化」を図る。										
内容 (手段・手法など)	市道(真砂町11丁目光明町3丁目線)の無電柱化整備及び修景整備										
事業の 対象	何を	「安全、景観、防災」等に寄与する無電柱化整備及び道路修景整備									
	誰に	道路利用者									
	どのくらい	道路整備延長 L=520m、道路幅員 W=25.0m(両側歩道 W=6.0m、車道 W=13.0m) (無電柱整備延長 L=980m)									
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—										

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,500	200	6,460	200	6,360	200
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,500	200	6,460	200	6,360	200

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		110,407	91,438	129,161
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託	23,411	11,533	13,610
	工事	86,996	79,905	115,551
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		110,407	91,438	129,161

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	116,907	97,898	135,521

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	57,530	50,050	66,951
県支出金	0	0	0
市債	42,300	37,100	50,700
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	99,830	87,150	117,651

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	17,077	10,748	17,870

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	道路利用者	道路利用者	道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	無電柱化道路の延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	無電柱化道路の延長		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	道路利用者に対して、安全で快適な通行空間の確保をはじめ、都市景観の向上及び都市災害の防止等を図る事業である。 岐阜市が所管する道路であるため、市が主として管路の設置や道路の舗装を行う必要があり、電線管理者が管路の通線や電柱の撤去を行っている。 類似する事業無し
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	幹線道路の無電柱化整備は、安全で快適な通行空間の確保のほか、大規模地震などの災害発生時に電柱の倒壊による輸送路の分断等を回避し、迅速な災害復旧に資する事業である。 道路管理者である岐阜市が主体となり、電線管理者と共に実施すべき事業である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	無電柱化整備によって、道路上の電柱や電線類がなくなることにより、都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保及び都市災害の防止等を図ることができる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	岐阜市の都心拠点における整備であり、多数の道路利用者の利益に資する。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	安全で快適な通行空間の確保及び都市景観の向上、都市災害の防止等を図るため、引き続き事業

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840050 _ 004

【1.基本情報】

事業名	街路灯のLED化											
担当部名	基盤整備部				担当課名			道路維持課				
実施方法	直営		補助等の種類			-			実施主体		岐阜市	
開始・終了年度	平成	25	年度～	令和	9	年度	根拠法令・関連計画		道路照明灯修繕計画			

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	道路利用者の夜間における道路交通の安全と事故防止を図るため、既存灯具に比べ、長寿命であるLED灯具への交換を進める。また、LED化による省電力化に伴い、電気代等の維持管理費及びCO2排出量の低減を図る。										
内容 (手段・手法など)	既存街路灯をLED灯具へ改良するとともに、新設においては、LED灯具を設置する。										
事業の 対象	何を	LED街路灯									
	誰に	道路利用者及び地域住民									
	どのくらい	市が管理する街路灯全てのLED化(N=23, 274基)									
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—										

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	13,975	430	13,889	430	13,674	430
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	13,975	430	13,889	430	13,674	430

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		143,918	295,381	205,768
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事	120,507	290,109	191,160
	委託	23,411	5,272	14,608
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		143,918	295,381	205,768

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	157,893	309,270	219,442

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	8,621	50,181	21,000
県支出金	0	0	0
市債	91,600	206,825	158,050
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	100,221	257,006	179,050

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	57,672	52,264	40,392

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービ))

活動指標名	街路灯設置・改良		単位	基
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1,319		839	593
実績値	1,520		596	641

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	維持費(電気代)の削減		単位	千円/年
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	前年度支払額からの減額	前年度支払額からの減額	前年度支払額からの減額	
実績値	17,000	-798	-14,548	
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	道路利用者へ夜間の道路交通の安全と事故防止を図るには、街路灯は欠かすことができない施設である。また、水銀灯は令和2年に製造中止しており、既存水銀灯のLED化は急務である。 岐阜市が所管する施設であるため、市が担う必要がある。 類似の事業は無い。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	LEDは水銀灯に比べ長寿命且つ省電力であるため、LED化により電球交換サイクルの延伸及び電気代等の維持管理費の低減を図ることができる。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	LED化による省電力化且つ電球交換サイクルの延伸によって、目標値より多くのCO2排出量の削減を図ることができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	街路灯は、岐阜市全域に設置されており、受益者は道路利用者及び地域住民全般である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	道路利用者の夜間における道路交通の安全と事故防止を図るため、街路灯は欠かすことのできない施設である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840050 _ 005

【1.基本情報】

事業名	側溝整備					
担当部名	基盤整備部		担当課名		道路維持課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	—	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の向上 ・雨水の円滑な排水による内水対策 ・適切な維持管理による道路管理瑕疵の抑制 					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・既設側溝の改良 ・新設側溝の整備 					
事業の 対象	何を	道路側溝				
	誰に	道路利用者及び地域住民				
	どのくらい	適切な維持管理及び新設整備				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,840	272	8,786	272	8,650	272
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,840	272	8,786	272	8,650	272

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		690,021	734,143	799,938
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事	690,021	734,143	793,440
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		690,021	734,143	799,938

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	698,861	742,929	808,588

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	51,653	50,000	51,000
県支出金	0	0	0
市債	473,400	485,000	600,300
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	525,053	535,000	651,300

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	173,808	207,929	157,288

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民	道路利用者及び地域住民
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	側溝整備事業		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	8,290	10,001	11,448	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市内交通の安全性・利便性の向上(側溝整備率の向上)		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	53	53	53	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	道路利用者や地域住民に対し、生活環境の向上、雨水の円滑な排水による内水対策、道路管理瑕疵の抑制を図るには、側溝整備は欠かせることができない事業である。 岐阜市が所管する施設であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	側溝整備により、浸水被害の軽減が図られているが、既設側溝の老朽化が進んでおり、今後は更新などの対策をより一層重点的に行う必要があることから、事業費の増加が見込まれる。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	側溝の改良、新設によって、生活環境の向上、雨水の円滑な排水による内水対策、道路管理瑕疵の抑制を図ることができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	側溝は岐阜市全域で整備されているが、側溝の新設など受益者である道路利用者及び地域住民が限定的な場合がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	側溝の改良、新設により、生活環境の向上及び雨水の円滑な排水による内水対策、道路管理瑕疵の抑制を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840050	__ 006
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	境川周辺地区整備									
担当部名	基盤整備				担当課名		道路維持課			
実施方法	直営		補助等の種類			実施主体		岐阜市		
開始・終了年度	平成	21	年度～	令和	6	年度	根拠法令・関連計画		—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	洪水被害が頻繁に発生する一級河川境川に対して、河川管理者である岐阜県が浸水被害対策として河川改修事業を進めており、工事の際架替えが必要となる橋梁を、岐阜市が施工主体となり実施している。									
内容 (手段・手法など)	境川の河川改修事業に伴う橋梁の架替え									
事業の 対象	何を	境川改修に伴い、架替えが必要となる岐阜市管理橋梁								
	誰に	周辺住民および橋梁利用者								
	どのくらい	5橋								
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—									

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,900	120	4,225	130	4,225	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,900	120	4,225	130	4,225	130

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		31,262	133,500	148,512
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	29,436	132,000	148,512
	委託料	1,826	1,500	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		31,262	133,500	148,512

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	35,162	137,725	152,737

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円) 令和3年度決算額(千円) 令和4年度決算額(千円)		
国庫支出金	4,650	19,864	20,754
県支出金	0	0	0
市債	4,100	17,877	18,600
使用料・手数料	0	0	0
その他	21,958	93,769	104,315
計(F)	30,708	131,510	143,669

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	4,454	6,215	9,068

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	周辺住民および橋梁利用者	周辺住民および橋梁利用者	周辺住民および橋梁利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	橋梁架替数		単位	橋
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	5	5	5	5
実績値	4	4	4	4

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	境川地区の橋梁の架替えによる耐震化率		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	100	100	100	100
実績値	80	80	80	80
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	浸水被害に対する安全性を向上させ、安心・快適に暮らせる生活環境を創出するため、市民ニーズに合っている。 岐阜市が所管する橋梁であるため、市が担う必要がある。 特定の橋梁の架け替えであり、類似事業は存在しない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜県の河川改修に合わせた橋梁架替えを実施しており、浸水被害軽減の効果が得られている。 道路管理者である岐阜市が主体となり、河川管理者とともに実施すべき事業である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	河川改修の進捗に伴い、浸水被害軽減に効果あり。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者は不特定の橋梁利用者のため、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜県の境川改修事業に伴う橋梁架替えであり、事業の進捗を図るため、引き続き事業を推進していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840050 _ 007

【1.基本情報】

事業名	橋梁耐震補強										
担当部名	基盤整備				担当課名		道路維持課				
実施方法	直営		補助等の種類			実施主体		岐阜市			
開始・終了年度	平成	16	年度	～	令和	26	年度	根拠法令・関連計画 橋梁耐震補強事業計画			

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	近く発生する恐れのある大規模地震に備え、橋脚の倒壊や橋げたの落下等を防止し、災害時の緊急車両や物資の輸送など通行機能の確保が必要である。 平成15年12月に「東南海・東海地震防災対策推進地域」に指定されたことを受け、橋梁耐震補強事業計画を策定し、それに基づき事業を推進している。										
内容 (手段・手法など)	橋梁の耐震化										
事業の 対象	何を	橋長10m以上の橋梁耐震補強を実施する必要がある橋梁									
	誰に	橋梁利用者									
	どのくらい	214橋									
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—										

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	13,553	417	13,243	410	14,310	450
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	13,553	417	13,243	410	14,310	450

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		201,876	102,300	145,723
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	126,120	102,300	114,538
	委託料	75,756	0	31,185
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		201,876	102,300	145,723

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	215,429	115,543	160,033

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	58,165	51,150	70,920
県支出金	0	0	0
市債	51,900	46,000	65,100
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	110,065	97,150	136,020

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	105,364	18,393	24,013

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	周辺住民および橋梁利用者	周辺住民および橋梁利用者	周辺住民および橋梁利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	耐震補強完了橋梁数		単位	橋
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	214	214	214	214
実績値	100	105	105	108

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	橋梁耐震化率		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	100	100	100	100
実績値	46	49	49	50
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	近い将来、発生が予想される大規模地震に対し、被災後も落橋等の 甚大な被害を抑制し、交通網を確保する必要があるため、社会・市民 のニーズに合っている。 岐阜市が所管する橋梁であるため、市が担う必要がある。 老朽化により撤去する場合などは、耐震化は不要となるが、耐震事業 計画において対象としている橋梁は、健全で利用者もあり継続利用を 見込んでおり、耐震補強が必要である。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	大規模地震発生時に落橋等の甚大な被害を抑制し、交通網が確保さ れる効果がある。 公共性が高く、民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要 がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	大規模地震発生時に落橋等の甚大な被害を抑制し、交通網が確保さ れる効果がある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者は不特定の橋梁利用者のため、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	近い将来、発生が予想される大規模地震に対し、被災後も落橋等の 甚大な被害を抑制し、交通網を確保する必要があるため、引き続き事 業を推進していく必要がある。